

GCOE ワーキングペーパー
次世代研究 2

ハンセン病者の生活世界とその変容に関する社会学的研究
— ジャワ島・バリ島（インドネシア）の患者集住地区を事例として —

有菌 真代
(日本学術振興会 特別研究員)

2010 年 1 月



京都大学グローバル COE
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」
Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科
Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本研究では、ハンセン病村をフィールドとして、インドネシアで社会的排除を受けてきた人々が、グローバル化の過程で「開発」や「援助」を志向する西欧側からの介入・眼差しや、市場中心主義などの近代的価値観の影響を受けつつ、いかにして生活世界の再編を行ってきたのかについて明らかにした。さらに、アジアのハンセン病患者という二重に周縁化された人々の側から、グローバル化および「親密圏と公共圏の再編成」という問題を捉え直すための理論的視座について検討した。

キーワード：インドネシア、ハンセン病、社会的排除

2008 年度次世代研究「ハンセン病者の生活世界とその変容に関する社会学的研究 — ジャワ島・バリ島（インドネシア）の患者集住地区を事例として —」（研究代表：有菌真代）による成果である。

【メンバー】 () 内は 2008 年度プロジェクト時点
有菌真代（京都大学大学院文学研究科 博士後期課程）